

令和6年度 つくば国際大学東風高等学校自己評価表

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度への主な課題
国語科	1 進路実現のための実力養成 ・語彙力 ・評論読解力・小説読解力 ・古文読解力・漢文読解力	(1) 特別進学コース・医療・看護進学コースを対象に授業内に入試対策として漢字・古語・語彙に関する小テストを実施する。 (2) 学期毎に、学習単元を評論と小説を交互に一つずつ扱う。特別進学コースでは入試問題演習を行う。 (3) 古文漢文は、概要を理解できるための基礎的事項習得を徹底する。	A	B	(1) 副教材を一通り終了できず、実施回数や出題範囲の見直しを図る。 (2) 学期によって校内考査の範囲終了に追われ、入試問題演習の時間確保が困難であった。 (3) 漢文の副教材を見直し、体系的に学習を展開できるよう更なる創意工夫に努める。
	2 社会生活を営むための基礎力養成 ・常用漢字を基本とする語彙力 ・一般教養としての国語基礎 ・表現力	(1) 進学コースを対象に授業内に常用漢字に関する小テストを実施する。 (2) 漢字検定や日本語検定の受検を奨励する。 (3) 作品創作や発表形式で「書く」・「話す」能力を養成する。	B		(1) 学年によって振り返り学習や反復学習が不十分であった。 (2) 受検者が増加し、更なる啓蒙と対策を強化する。 (3) 「読解力」指導が中心で「表現力」指導を増やす。
	3 自ら学ぶ主体性の養成 ・チャレンジ精神 ・発言、発信する力 ・知的好奇心	(1) ICTを活用し、生徒全員の意見を取り入れる創意工夫をする。 (2) グループワーク、討論による話し合いを取り入れた授業形態の導入。 (3) 新聞、動画等視聴覚教材を活用し、興味、関心を引き出す。	B		(1)/(2)/(3) 共通して教員の意欲、姿勢、能力に個人差があり、研修や教科会での意見交換を活発化し、自己研鑽に努める。